

JRの業務外注化を止めるためのニュースです。感想や意見、現場の情報などをお寄せ下さい。(メール) dc-info@deluxe.ocn.ne.jp

## 東労組の裏切り妥結 弾劾!

### ◎東労組は全面外注化について完全に認めた

下の「業務部速報」を見て下さい。JR東労組は6月19日、検修構内業務の全面外注化についての「修正提案」を妥結しました。

「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進(修正)」とは、要するに一部は修正するが、鉄道業務を丸ごと外注化する基本路線そのものは変わらないということです。

「機動判業務・駅派出の一部を本体に残す」と言っていますが、会社は「将来にわたって委託しないということではない」と明言しています。

「構内計画業務の1年間の検証」は1年かけて外注化を準備することしか意味しません。

これらは修正でも何でも無い。一部修正の形をとって現場をごまかすことだけが目的の偽装修正です。

東労組本部は、こんなインチキを「勝ち取った成果」などと言って、外注化を自ら推進しようというのです。逆に言えば組合の協力がなければ外注化はできないのです。現場から反対の声を上げれば阻止できます。これからです。

### ▼実際には全面外注化しか意味しない妥結を「修正提案」「成果」と言いなす東労組「業務部速報」

## 業務部速報(号外)

発行 12. 6. 19

JR東労組 業務部

### 「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進」

### 「機動判業務」「駅派出の一部」を本体に残し、

### 構内計画業務(A番)の1年間の検証及び21職場の直轄化! 修正提案を引き出す!

JR東労組は、2009年10月29日の提案以降、職場議論と団体交渉をおこない、安全を基礎にして、技術継承がJR本体において確実におこなえる体制の実現を目指してきました。

6月19日、「機動判業務」や「ホーム検査を主とする駅派出」を委託しないとす「グループ会社と一体となった業務体制のさらなる推進について(修正)」を会社から引き出しました。この事は、職場実態を踏まえ全組合員と議論した結果として、勝ち取った成果であるといえます。今後は、各地本・支社間の議論に向けて、議事録確認を行い判断することとします。

#### 体制イメージ図

